



第3回
横須賀市議会

議会報告会

平成24年度予算と主な事業について

4月23日(月) 27日(金)

本日の流れ



1. 議員紹介
2. 開会あいさつ
3. 議会報告
4. 質疑応答
5. 意見交換
6. 閉会あいさつ

* 携帯電話は電源を切っていただくか、
マナーモードの設定をお願い致します。

平成24年度横須賀市各会計予算

平成24年度の横須賀市各会計の予算額及び伸び率等は、次のとおりです。

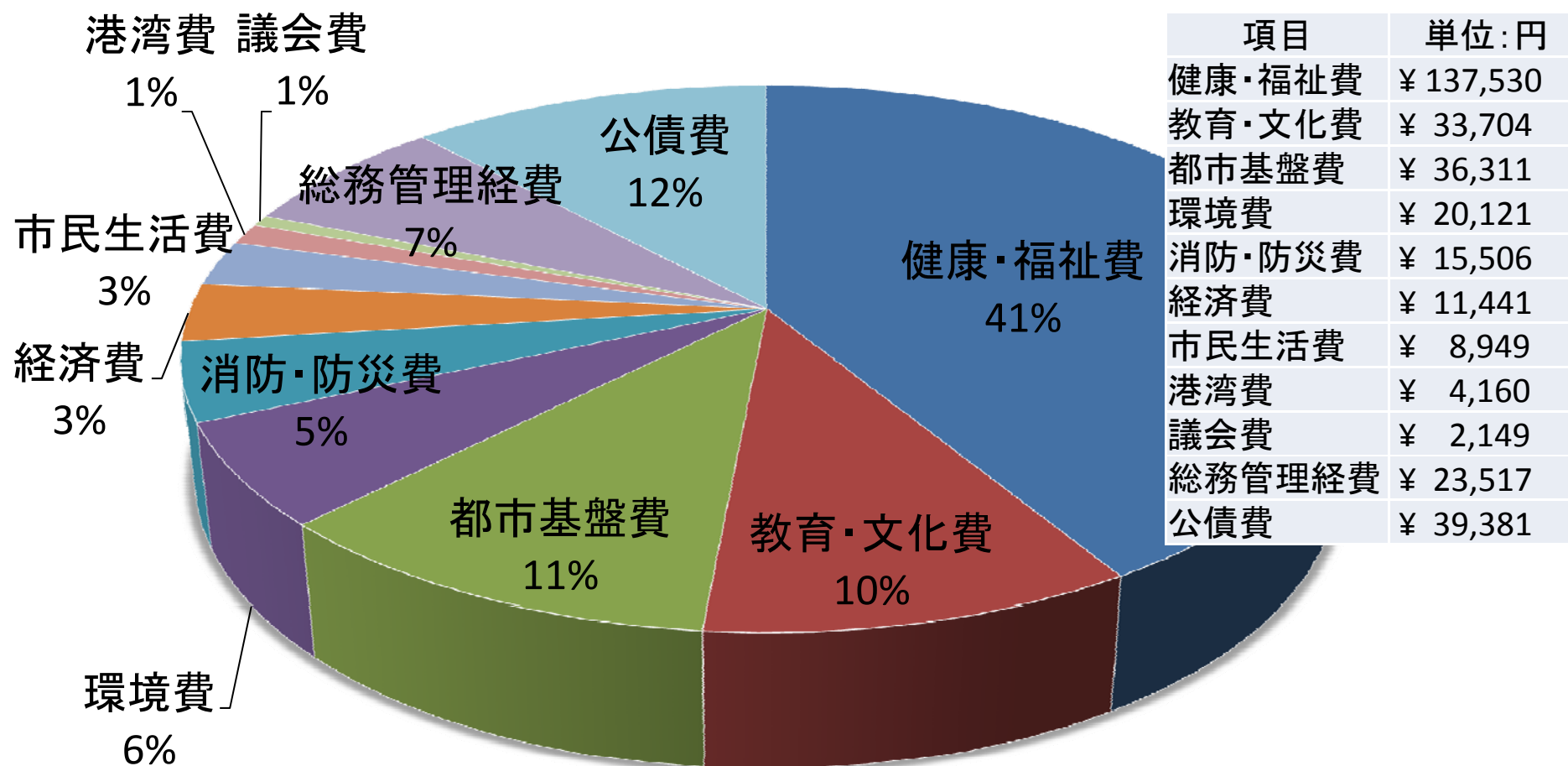
(単位 千円)

会 計 名		平成24年度	平成23年度	増(△)減	伸率	前年度伸率
一 般 会 計		140,780,000	144,310,000	△ 3,530,000	△ 2.4	3.3
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 費	48,696,000	48,744,000	△ 48,000	△ 0.1	4.3
	公 園 墓 地 事 業 費	243,000	247,000	△ 4,000	△ 1.6	0.4
	介 護 保 険 費	29,947,000	27,022,000	2,925,000	10.8	7.7
	母子寡婦福祉資金貸 付 事 業 費	167,000	176,000	△ 9,000	△ 5.1	△ 6.9
	公 債 管 理 費	19,369,000	22,199,000	△ 2,830,000	△ 12.7	△ 34.1
	後 期 高 齢 者 医 療 費	4,903,000	4,447,000	456,000	10.3	△ 1.9
	小 計	103,325,000	102,835,000	490,000	0.5	△ 6.9
企 業 会 計	水 道 事 業 会 計	15,694,000	16,470,000	△ 776,000	△ 4.7	△ 0.4
	下 水 道 事 業 会 計	22,624,000	21,783,000	841,000	3.9	△ 0.9
	病 院 事 業 会 計	3,683,000	3,894,000	△ 211,000	△ 5.4	3.1
	小 計	42,001,000	42,147,000	△ 146,000	△ 0.3	△ 0.3
合 計		286,106,000	289,292,000	△ 3,186,000	△ 1.1	△ 1.1

市民一人当たり予算の使い道(一般会計)

総額 33万2769円

(平成24年1月1日住民基本台帳人口423,056人で換算)



議員提出による予算修正案

1. 議案第14号「一般会計予算」

自治基本条例が継続審査になったことから関連費を減額

- ・自治基本条例推進委員会関連費及び
啓発費(自治基本条例フォーラム、パンフレット発行)等を削除
- ・(仮称)地域運営協議会へのアドバイザー派遣費を削除
(仮称)地域運営協議会運営費を6地区から2地区へ減額

福祉バスルシア号廃止に対して周知期間を確保するため、
バスの運行費1カ月分を増額

⇒ 賛成多数で可決

2. 議案第21号「水道事業会計予算」及び議案第22号「下水道事業会計予算」中、(株)よこすかウォーターサービス 設立のための出資金等合計 6,444.3万円を減額

⇒ 18対20で否決

当初予算の修正①

政策推進部

総務費(2款) — 総務管理費(1項) — 政策推進費(7目)

	事業名	原案	修正案	備考
1 給与費 (1)各種委員報酬	③自治推進専門委員	600, 000円	600, 000円	同額
	⑤自治推進委員会委員	312, 000円	0円	△312, 000円
	⑥住民投票条例検討委員会委員	520, 000円	520, 000円	同額
			小計	△312. 000円
6 自治推進事業費 (1)自治推進事業	①自治の推進に向けた取り組み			
	(ア)自治推進委員会の開催	12, 000円	0円	△12, 000円
	(イ)住民投票条例検討委員会の開催	30, 000円	30, 000円	同額
	(ウ)自治基本条例フォーラムの開催	245, 000円	0円	△245, 000円
	②啓発のための取り組み	1, 049, 000円	0円	△1, 049, 000円
	③事務費	340, 000円	340, 000円	同額
			小計	△1, 306, 000円

当初予算の修正②

市民部

総務費（２款） — 総務管理費（１項） — 一般管理費（１目）

	事業名	原案	修正案	備考
1 給与費 （２）各種委員報酬	③（仮称）地域運営協議会支援専門委員	300,000円	300,000円	同額
	④（仮称）地域運営協議会支援条例 検討委員会委員	390,000円	390,000円	同額
2 市民協働型まちづくり 推進事業費 （３）（仮称）地域運営 協議会設置等検討事業	①地域運営アドバイザーの派遣 （６地区→２地区）	180,000円	０円	△180,000円
	②（仮称）地域運営協議会運営費交付金 （６地区→２地区）	600,000円	200,000円	△400,000円
			小計	△580,000円

当初予算の修正③

福祉部

民生費（３款）　－　社会福祉費（１項）　－　老人福祉費（３目）

	事業名	原案	修正案	備考
2 高齢者生きがい対策費	福祉バス「ルシア号」運行費（1か月分）	0円	2,500,000円	2,500,000円
			小計	2,500,000円

予算の修正額合計

款項目	原案	修正案	備考
総務費（2款）－総務管理費（1項） －政策推進費（7目）	514,999千円	513,381千円	△1,618千円
総務費（2款）－総務管理費（1項） －一般管理費（1目）	3,735,480千円	3,734,900千円	△580千円
民生費（3款）－社会福祉費（1項） －老人福祉費（3目）	4,711,500千円	4,714,000千円	2,500千円
予備費 15款－1項－1目	200,000千円	199,698千円	302千円

総務常任委員会

(政策推進部、総務部、財政部、経済部ほか)



■(仮)地産地消マーケット関係事業 (3,667.2万円)

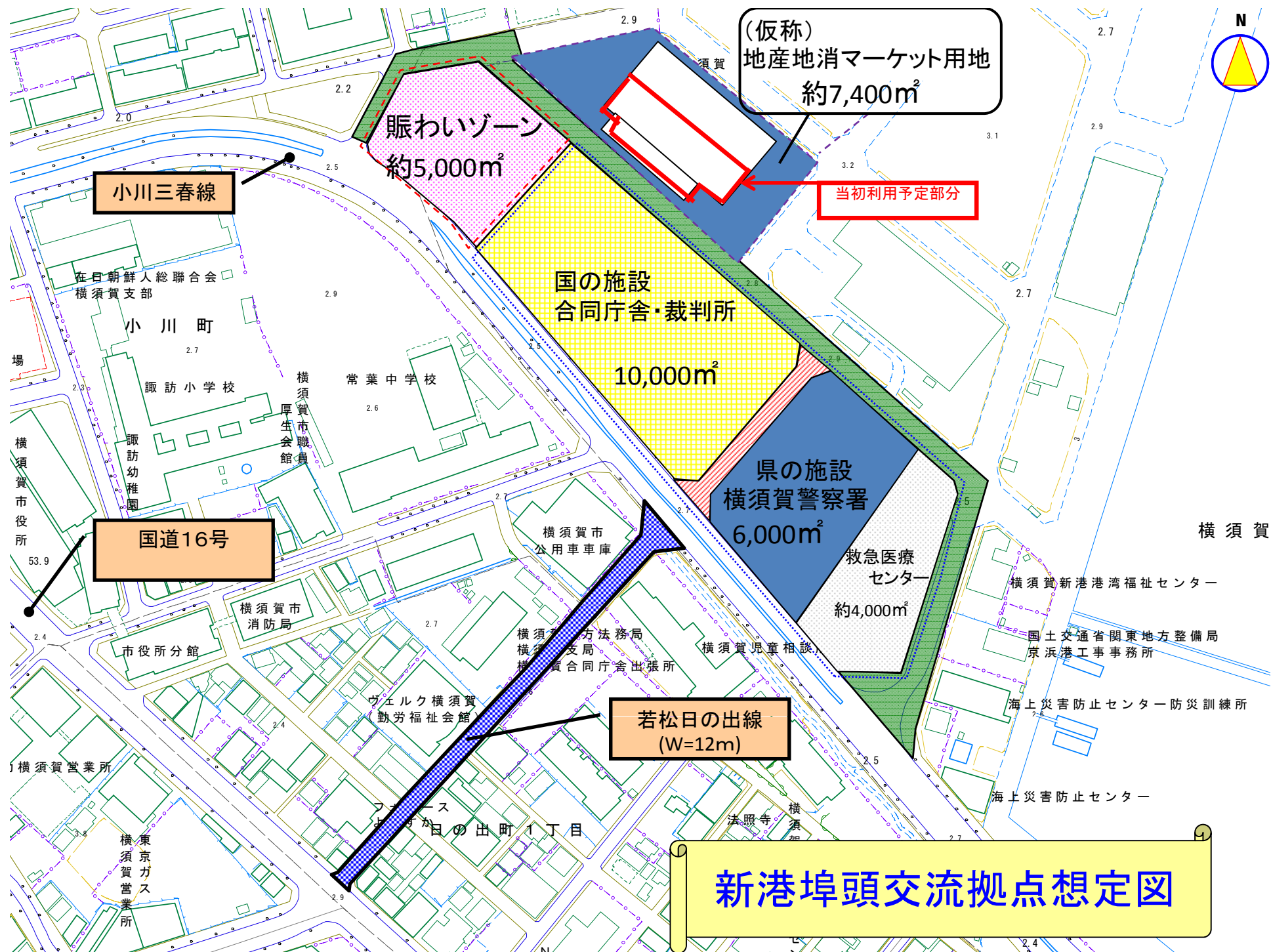
- ・新港埠頭の一部区域を交流拠点用地として位置づけ、平成25年3月に集客促進を目的とした(仮)地産地消マーケットをオープンします。

《内容》

- ・地場産農水産物や加工品、飲食店、みやげ物の販売、観光インフォメーション等。
- ・駐車場(普通車180台、大型バス23台)

また、これに伴い三笠公園や国道16号線などと道路を結び、安全対策を含めた周辺整備も進め、新港埠頭交流拠点を「横須賀の新たなまち」として形成します。





新港埠頭交流拠点想定図

■ 横須賀中央・三笠巡回バス導入支援事業（1,800万円）

- ・(仮)地産地消マーケットのオープンにあわせ、横須賀中央駅から三笠公園、新港埠頭交流拠点を巡回するバス路線の開設に向け、支援します。
市がバスを購入して運行業者に無償貸与し、運行管理やメンテナンスも一括委託します。

《事業予定》

- ・運 行 開 始 平成25年3月
- ・ルート(予定) 横須賀中央 → 歯科大前 → 記念艦三笠前 → (仮)地産地消マーケット → 官公庁前 → 横須賀中央駅



生活環境常任委員会

(市民安全部、市民部、資源循環部、上下水道局、消防局)

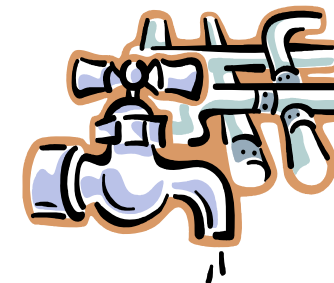


(仮称)株式会社よこすかウォーターサービスの 設立準備事業(事業費:6,444万円)

上下水道局

上下水道局と民間が共同出資し、新会社を設立して個人の給排水設備の修理や漏水調査、上下水道料金やトラブルに関する問い合わせを引き受け、市民サービスの向上を図る

- ・会社設立: H25年1月、事業開始H25年4月
- ・会社の選考: プロポーザル方式(公募による企画提案型)
- ・会社との事業期間: H25年4月～H35年3月(10年間)
- ・委託事業: 単年度ごとの随意契約



主な質疑

職員の人員計画、安定経営のためのマネジメントの必要性、設立後の技術継承方法、市内業者の工事受注への影響、ペットボトルの販売戦略、契約期間と随意契約の法的根拠など

*予算議案第21・22号の会社設立に関連する
予算削除の修正動議が提出され**否決**(18対20)



(仮称)地域運営協議会設置に向けた取り組み

(事業費:156万円)

市民部

地域の特色や個性を生かした「市民が主役のまちづくり」を実現するための地域自治組織の設立と運営を支援

- ・(新)支援条例検討委員会の開催・・・ 3回
- ・(新)地域運営協議会支援専門委員の配置
- ~~・(新)地域運営アドバイザーの派遣・・・6地域~~
- ~~・(拡)(仮称)地域運営協議会の設立・・・2地域 → 6地域~~



主な質疑

(仮称)地域運営協議会と自治基本条例における地域自治組織との関連性、地域運営協議会モデル地区の選定経緯及び拡大の是非など

*自治基本条例(議案第24号)が継続審査となり、
予算議案第14号中 修正動議が提出され**可決**(29対10)



教育福祉常任委員会

(教育委員会、健康部、福祉部、こども育成部)



福祉バス「ルシア号」の 突然の廃止に対して



「予算の修正」を行いました

「ルシア号」とは

- 平成7年スタート、年3万人の利用者
- 60歳以上の方、障がいのある方、その介助者の方が無料で乗れるバス
- 「社会参加」と「自立の援助」が目的
- 予算3,000万円、京急バスに運行委託



バス停と老人福祉センターをつなぐ 市内10コース



はまゆうコース(武山・秋谷)水曜日運転 大型車で運転					
停留所	時 刻	時 刻	停留所	時 刻	時 刻
衣笠十字路	920	1030	秋谷老人福祉センター	1430	1554
井戸店	923	1032	前田橋	1433	1557
衣笠城趾	925	1034	芦 名	1435	1559
武 山	931	1040	横須賀市民病院前	1442	1606
一騎塚	937	1046	長 井	1450	1614
長 井	944	1054	一騎塚	1457	1621
横須賀市民病院前	952	1102	武 山	1503	1627
芦 名	959	1109	衣笠城趾	1509	1633
前田橋	1001	1111	井戸店	1511	1635
秋谷老人福祉センター	1004	1114	衣笠十字路	1514	1638

日替わりで週1回
午前と午後の
計4回運行

市が廃止を打ち出した理由

- 利用者数の**伸び悩み**
(平成20年度3万8150人がピーク、
平成22年度3万3000人とどまる)
- 平成24年にバス車体の更新が必要
多額の費用がかかる
- 経済部「**はつらつシニアパス**」が好評
(平成21年スタート、1万7000円で
市内路線バスが半年間乗り放題になる)
- 平成22年の事業仕分け
仕分け人**全員が「不要」と結論**

本会議・委員会での質疑の結果、 問題点が明らかになりました

「ルシア号の廃止・はつらつシニアバスへの移行」そのものは理解できるものの...

1)3月28日から廃止の周知、3月31日に廃止
→これでは利用者への**周知期間が短すぎる**

2)**周知方法も問題あり**

市長の答弁によると…
「ルシア号がバス停に
到着する時間の前後に
市職員が待機して
利用者に説明する」



そこで

議会の対応「予算の修正」
バス運行を
1か月延長する増額

本会議にて可決されました

その結果、こう変わりました

- 本会議の翌日、市長が発表
「4月28日まで運行を延長する」
- 現在、あらゆる手段で周知中
 - 全バス停にポスターを掲示
 - 全ての路線バス内にチラシを設置
 - 老人福祉センター、行政センター、コミセンにチラシを設置
 - 全ての民生委員に通知
 - 地域包括支援センター、ケアマネージャーに通知
 - 横須賀市ホームページにお知らせを掲載

電力の購入に 「一般競争入札」導入へ

これまで電力の購入は、東京電力1社との
競争性の無い「**随意契約**」だった

議会が提案！

今後は「**一般競争入札**」を導入
PPS(特定規模電気事業者)の参入で
電気を安く買うことができる

「PPS(特定規模電気事業者)」とは

- 電力自由化の流れで平成17年から
50kw以上の利用者(例.コンビニ)は
PPSから電気を購入できる
- 既存の電力会社よりも安い料金設定
- 原発事故前から徐々に普及していた
- 平成24年3月現在、全国に53社

PPSから電気を買うしくみ



どんなメリットがあるか

- 初期投資にかかる費用はゼロ
- 先行導入事例（官公庁はじめ多数）は電気料金的大幅なコストカットを実現

横須賀では

- 小中学校70校の電気代**2億4000万円**
- **2000万円カット**できる見込み

今後の導入スケジュール

- 4月末 公告
- 5月 入札実施
事業者の決定
- 7月 導入

今年度の成果をみて
対象を拡大していくか検討する

都市整備常任委員会

(環境政策部、都市部、土木部、港湾部)



■空き家リフォーム等(住宅リフォーム)助成事業 (都市部)
(事業費:3,000万円)

その他主な事業

◆(仮称)破崎公園整備事業(環境政策部)
(事業費:1,216万円)

◆セーフティロード事業 ・ 通学路整備事業(土木部)
(事業費:15,527万円) ・ (事業費:2,460万円)

◆急傾斜地崩壊対策事業(土木部)(事業費: 34,033万円)

位置 ■ S=1/5000

破崎公園 施工箇所



横須賀市環境政策部公設建設課

工事名称		(仮称) 破崎公園測量業務									
■面名称		位 置 圖									
■面番号		1/1		縮尺		1/5000		製 作 年 月		H23.5	
課 長		主 査		審 査		設 計					



破崎公園からの眺望

通学路整備事業

【山崎小学校(市道556号線)】

施工前



施工後



急傾斜地崩壊対策事業

◆急傾斜地崩壊危険区域 整備状況

(平成23年3月31日現在)

危険がけ数	指定区域数	指定区域面積(ha)	概成区域数	整備率
527	399	958.29	300	56.9%

整備率＝概成区域累計÷危険箇所調査結果数(527箇所)

◆急傾斜地崩壊対策事業費 (平成24年度予算)

神奈川県の実業費	51億6,150万円
横須賀土木事務所管内の実業費	23億350万円
横須賀市の負担金	3億4,032万7千円

◆事業費の負担割合

	国	県	市	
国庫補助事業(公共事業)	40%	40%	20%	37箇所
県単独事業		80%	20%	19箇所

防災体制等整備特別委員会



防災体制等整備特別委員会の取り組み

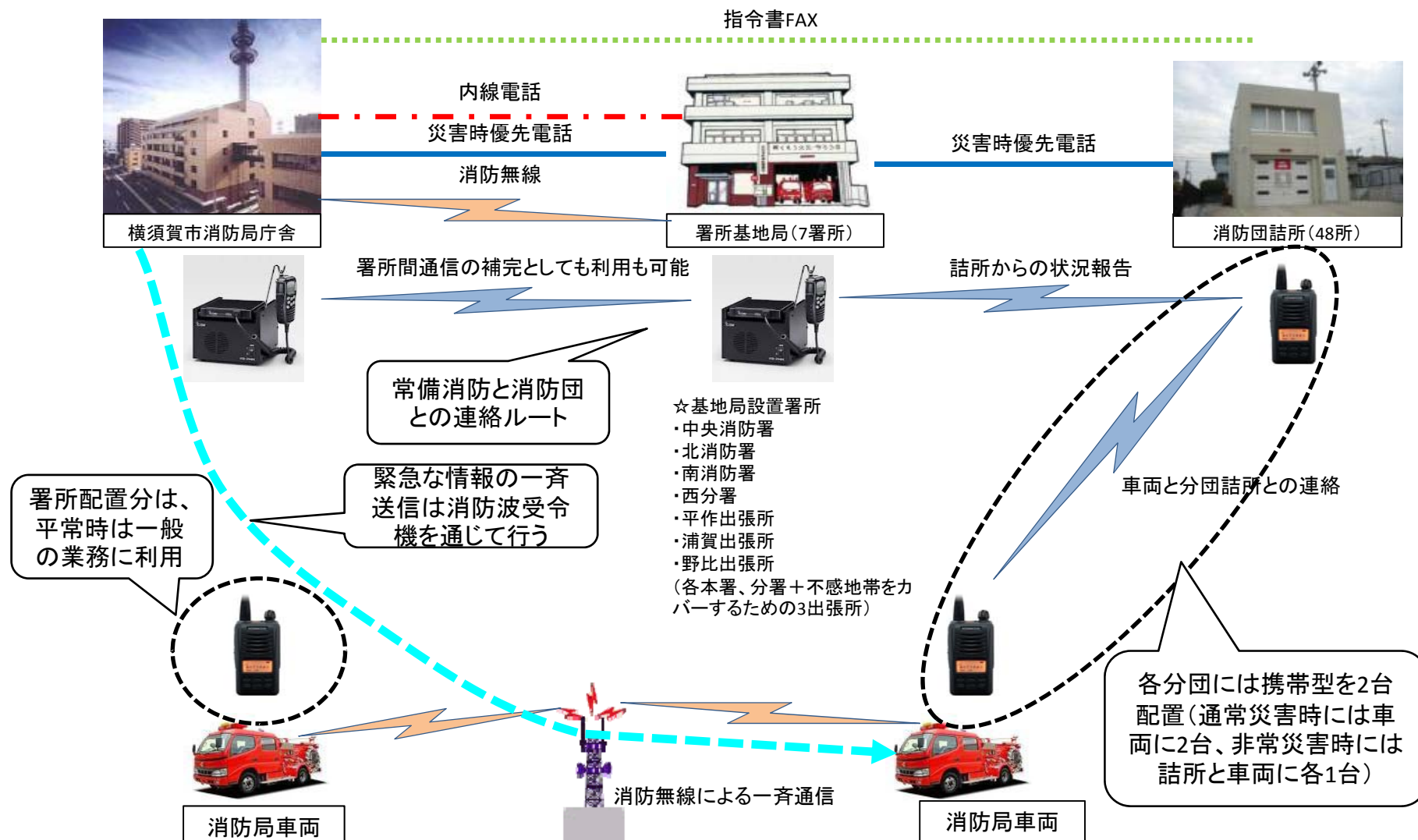


地域防災計画の充実を図るため5つの項目に分類して審査を行い、ガイドラインの作成を行います。

1. 避難所の運営、
2. 庁内組織の指揮系統・情報の収集・発信、訓練、
3. 物資のコントロール
4. 民間・公的機関との協力関係と協力内容、
5. 維持すべき優先施設

1 防災用情報通信網の多重化

簡易無線利用イメージ(災害時の情報伝達網)



2 避難所等の備蓄資機材の整備



簡易テント

女性に配慮した資機材を整備

3 避難所の施設整備

避難所の機能を向上させるため、施設の整備や改修を行います。

(1) 小中学校の体育館トイレの洋式化など(5, 700万円)

(2) 備蓄倉庫の無い小中学校に備蓄倉庫を整備

(1, 300万円)等

(3) 避難所用蓄光看板の設置 (265万円)



自治基本条例検討特別委員会



イラスト提供：横須賀市広報課

自治基本条例議案提案までの経緯

平成22年10月 自治基本条例検討委員会～(12回)
庁内プロジェクトチームの検討

平成23年 12月 自治基本条例案パブリックコメント

平成24年 2月 議案24号「横須賀市自治基本条例」
議会に提出される

3月 自治基本条例検討特別委員会にて
継続審査となる

(平成24年請願第3号
も関連で継続に)



継続審査になった主な理由

1. 地域自治組織、住民投票の制度設計が、具体的に提示されていない。
2. 最高規範性を謳っていながら市民に対する周知が不十分だと思われる。
(市長タウンミーティング、出前トーク参加者約1,500人、パブリック・コメント155人)
3. なぜ今自治基本条例か、明快な説明がない。
⇒現状では判断できない。

自治基本条例とは？

横須賀市におけるまちづくりの基本的なルールとなる条例です。まちづくりの理念や、まちづくりの担い手（市民、議会、行政）がどのような役割や責任をもってまちを作っていくのか、またそのための仕組みなどを定めるものです。

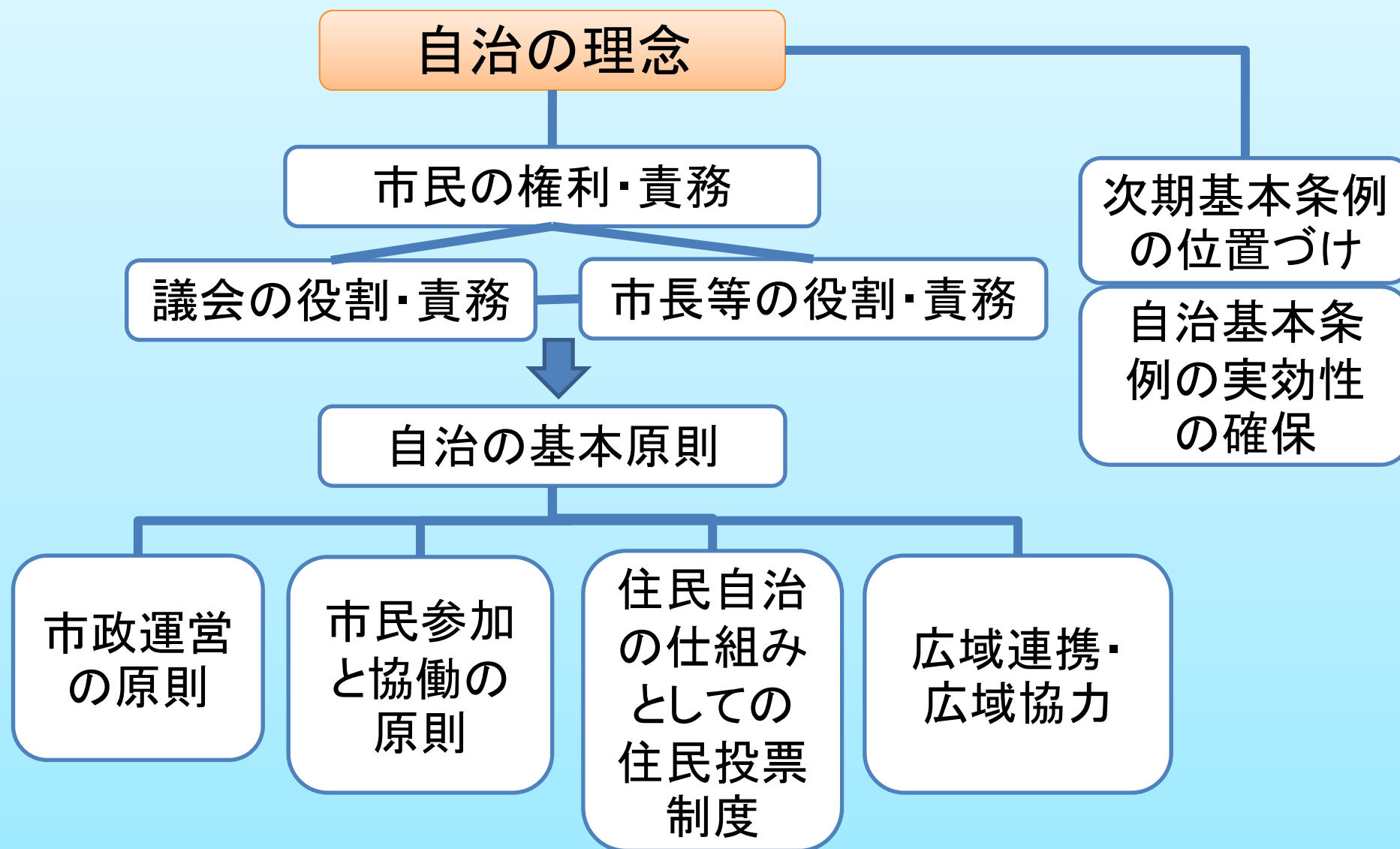


自分たちのまちのことは自分たちで決める



住民投票制度

自治基本条例の構成



質疑・応答の時間



発言のある方は**挙手**をどうぞ。
担当がマイクを持って伺います。

発言の前に**お住まいの地域・お名前**
をお聞かせ下さい。

お一人**3分以内**でお願いします。

意見交換の時間



テーマ 市政に関することなら
何でもどうぞ

お一人**3分以内**で

*ただし、議員個人の見解は述べません
ご了解ください。



有難うございました。

アンケートのご協力を
お願いします。

お気をつけてお帰り下さい。